

小金井市議会議員／情報公開こがねい

週刊 渡辺大三 NEWS



「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ

【会派 NEWS】 2020(令和2)年 9月1日 週刊 vol.55

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

使途自由の財政調整基金には 16 億円も積み立てるのに…

コロナ対策基金にはわずか 290 万円

西岡市長が 9 月議会に提出の補正予算

小金井市議会は、9 月定例議会を 9 月 1 日から 10 月 6 日までの会期で開催します。定例議会の動き等については、「週刊 渡辺大三 NEWS」で随時報道いたします。よろしくお願い申し上げます。

西岡市長は、9 月定例議会に、一般会計補正予算(第 6 回)を提出しました。

昨年度一般会計の黒字額が約 22 億円と確定しました。今回の補正予算は、その黒字額の内、本年度一般会計予算で「先食い」した 4 億円を除く約 18 億円をどのように処理するかがポイントとなります。

西岡市長が編成した補正予算は、使途が自由な財政調整基金に 16 億 8000 万円を積み立て、新型コロナウイルス感染症対策基金には、わずか 290 万 4000 円しか積み立てない…という内容になっています。

しかもこの 290 万円は、市議会議員、市長、副市長、教育長の 7 月分の月額報酬(給与)の 20% カット相当分等を積むものです。つまり、昨年度の黒字額から新型コロナウイルス感染症対策基金への積み立ては、実質的に「ゼロ」ということになり

ます。現在の社会経済情勢を考慮したとき、そのような予算編成姿勢でいいのでしょうか。

市長にしてみれば「財政調整基金は使途自由だから、新型コロナウイルス感染症対策にも使える」と言いたいのでしょう。しかし、財政調整基金は、新型コロナウイルス感染症対策とはまったく関係のない経費(たとえば市役所人件費)にも使うことができるのです。

もちろん、財政調整基金にも一定額の積み立ては必要ですが、新型コロナウイルス感染症対策基金にも相当額を積み立てて、すでに到来した第一波、第二波の影響に苦しむ市民や事業者へのさらなる支援、さらには今後の第三波の襲来に備えた対策に備えるべきです。

また、すでに春の段階で約 22 億円の黒字額が確定していたのですから、今回の補正予算で、骨太な新型コロナウイルス感染症対策事業を展開すべきだったのではないのでしょうか。黒字額を歳入として一般会計予算に組み込みながら、歳出の中身があまりに薄いので、議会側からは「えっ？。新型コロナウイルス対策は？」と驚きの声が上がっています。

「コロナだから…」は理由になりません

渡辺大三の指摘で 815 万円のムダ遣いなくなる

この 5 月、小金井市、府中市、国分寺市、国立市の医師会が共同で、PCR 検査センターを設置す

ることとなり、小金井市も関連する施策の検討をおこなっていました。

そのような中、西岡市長は、小金井市内の医療機関から、設置される PCR 検査センターへの発熱者等の輸送業務を委託事業として実施する方針を固め、市議会に非公式に説明しました。

西岡市長側の説明は、「新型コロナ対策であり、急ぐので、入札や見積もり合わせは行わず、3000 万円で 1 社と随意契約したい」という趣旨でした。なんとも怪しい話です。

私は、「急ぐことは大事だが、3000 万円もの金額が妥当なのか？。きちんと入札なり見積もり合わせなりすべきだ」と厳しく指摘しました。

西岡市長側は、私の指摘を踏まえて、1 社との随意契約を断念。他社からも見積もりをとりました。その結果、2184 万 3000 円で受託できる会社が現れ、差し引き 815 万 7000 円が無駄にならずに済みました。

2 予算積算額	
(1) 予算科目	
ア 委託料	
4・1・2 (事業) 02 感染症予防関係に要する経費	
(節) 委託料 (細節) 委託料 (細々節) PCR検査受検者搬送委託料	
予算現額	0円
予算執行見込額	21,752,584円
過不足額	△21,752,584円
予備費充当額	21,753,000円
イ 需用費	
4・1・2 (事業) 02 感染症予防関係に要する経費	
(節) 需用費 (細節) 燃料費 (細々節) 燃料費	
予算現額	0円
予算執行見込額	89,356円
過不足額	△89,356円
予備費充当額	90,000円
予備費充当額計	21,843,000円

「コロナだから…」を理由として必要な手続きを飛ばすことは、結果として大きなムダ遣いにつながります。今後も、厳しく行政を監視してまいります。

西岡市長推薦の市議候補による 福祉施設の個人情報盗用事件

9/15 に本人を参考人質疑

前回の市議会議員選挙(2017年3月)において西岡市長が推薦した市議会議員候補が、勤務先の福祉施設の個人情報盗用事件について、小金井市議会に、当該元市議候補を参考人招致して質疑することとなりました。

参考人質疑は、9月15日午前10時30分から、市役所本庁舎3階「第一会議室」において行わ

れます。傍聴も可能ですし、YouTube 中継もあります。

介護する側、される側・・・弱い立場の人の心理につけこんで集票しようとしていたなら、本当にひどい話だと思います。

市長は最近、「福祉を市政のど真ん中に」とか言い始めていますが、「福祉を集票ターゲットのど真ん中」にするような人を推薦しておいて、何を言っているのかな・・・と複雑な気持ちになります。

多すぎる議員定数問題

削減求め 1000 筆超える署名

小金井市議会の議員定数が、多摩 26 市の中で人口が類似する 4 市中、もっとも多い 24 人となっている問題について、市民団体「議員定数削減の会」は、市内に問題点を知らせるチラシを配布し、削減を求める請願署名運動を行いました。

途中経過ですが、新型コロナウイルス感染症という社会状況の中、請願署名ハガキはすでに 500 枚も返信されており、署名者も 1000 人を超えているということです。

市民団体は、9月1日に、市議会議長あてに第一回の請願署名簿提出を行うとのこと。署名運動は引き続き行い、寄せられた署名は順次市議会議長あてに提出するそうです(私の手元に署名簿の予備がありますので、必要な方がおられましたら、いつでもお声がけください)。

請願は 9 月定例議会中の議会運営委員会で審査されることになると思います。

◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書。26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選)。【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

【私の市内在住歴】貫井北町3丁目→梶野町5丁目→本町5丁目→貫井北町2丁目→貫井北町1丁目→緑町3丁目→中町3丁目。実家は東町3丁目。